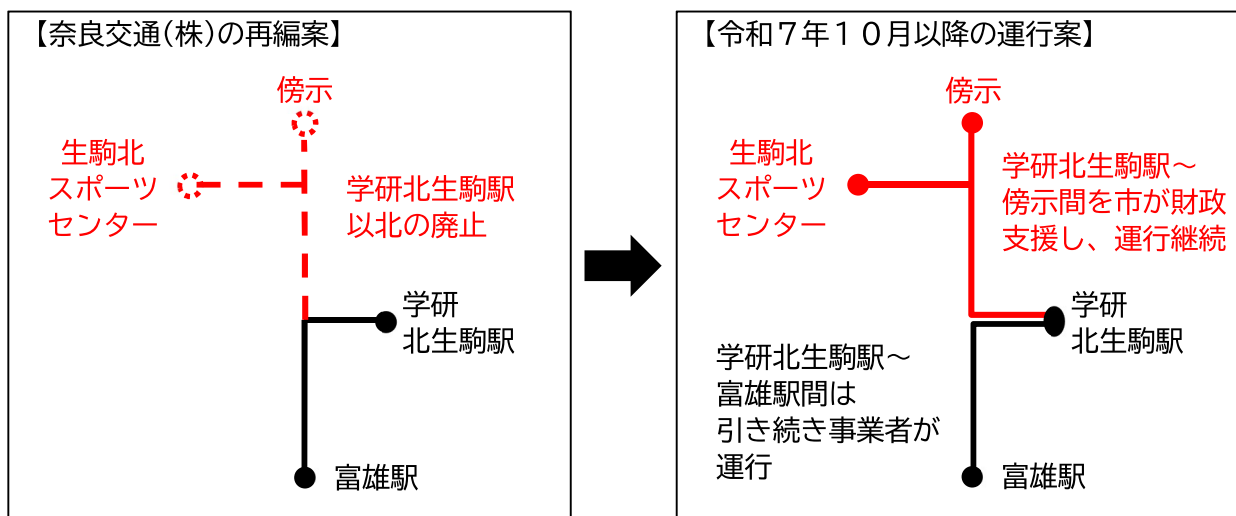


生駒市地域公共交通利便増進実施計画策定に向けた進捗について (第1回分科会報告)

1. 富雄庄田線の路線再編案について

令和4年3月に奈良交通(株)から、富雄庄田線のうち、傍示・生駒北スポーツセンター～学研北生駒駅間の廃止案が提示されたが、バス路線廃止による地域への影響が大きいことから、対象区間のバス路線の存続に向けて、市と奈良交通(株)とで協議を続けていた。

令和6年3月15日に「生駒市と奈良交通株式会社との連携・協力に関する協定書」を締結し、傍示・生駒北スポーツセンター～学研北生駒駅間については、市が財政支援を行うことで、以下のとおり令和7年10月以降も運行を継続する。



富雄庄田線の運行を継続していくため、令和7年10月に富雄庄田線を傍示方面～学研北生駒駅と学研北生駒駅～富雄駅の2つの路線に分割して運行を効率化し、地域公共交通利便増進実施計画（以下、利便増進計画という）を策定して利便性向上による利用者の増加を通じて収支改善を図る。

2. 第1回分科会開催概要

- ・日時：令和6年7月18日（木）午後3時～午後5時
- ・場所：生駒市コミュニティセンター201
- ・出席者：（委員）山本副市長（会長）、室崎委員（副会長）、阪本委員、新井委員、大西委員（代理：松石様）、本田委員（代理：内藤様）、深田委員（代理：坂下様）

（事務局）生駒市（米田建設部長、谷事業計画課長、楠下事業計画課課長補佐、菊池事業計画課交通対策係員）、一般社団法人システム科学研究所（加藤、高橋、柿園）

分科会の詳細は生駒市HPで公開中



3. 第1回分科会の議事内容

決定したことや主なご意見は次の通りである。なお、議事概要は【資料4 参考資料1】に掲載する。

3.1. 分科会について

- ・分科会は、協議事項が奈良交通(株)の再編案から富雄庄田線の利便性向上を図るための利便増進計画になったことから、会議を公開とする。今後、個人情報や奈良交通(株)の企業内情報を取り扱う事案の場合があれば、その場合のみ非公開とする。

3.2. 地域公共交通利便増進実施計画について

- ・利便増進計画の実施予定期間は、生駒市地域公共交通計画の計画期間（令和13年度末まで）と同じ期間もしくはその期間内。
- ・富雄庄田線は、傍示・生駒北スポーツセンター～学研北生駒駅～富雄駅を結ぶ路線であり、今回の再編案は、傍示方面～学研北生駒駅、学研北生駒駅～富雄駅の2つの路線に分割し、傍示方面～学研北生駒駅間について、利用実績や地域のニーズを踏まえて利便向上を図ることから、利便増進計画の実施区域は、富雄庄田線の傍示・生駒北スポーツセンター～学研北生駒駅とする。
- ・利便増進に向けて、路線再編だけでなく、学研北生駒駅での乗り継ぎ割引の設定など様々な取組みを考えていく必要がある。

3.3. 富雄庄田線の現状について

- ・傍示・生駒北スポーツセンター～学研北生駒駅の通勤通学時間帯の利用をみると、生駒北小中学校への通勤通学が大部分だと考えられ、それ以外の鉄道を利用した通勤通学の需要にはほぼ対応できていない実情が読み取れる。
- ・再編案では、高山地区から北コミュニティセンターISTAはばたきなど学研北生駒駅以南に行く場合、学研北生駒駅での乗り継ぎが発生する。乗り継ぎ時間や料金の調整により、学研北生駒駅でのバス同士の乗り継ぎをしやすい方法を検討していく必要がある。
- ・学研北生駒駅では、乗車より降車の人数が多く、駅からの帰りはバスを利用していないことが考えられる。これは、帰宅時に学研北生駒駅でのバスの待ち時間が長い、あるいは、遅い時間はバスが運行していないため、家族等の送迎を利用している可能性がある。

3.4. 地元意見の集約方法・調査内容について

- ・高山地区住民を対象にしたアンケート調査（全戸配布）を実施する。
- ・利便増進計画としては富雄庄田線の一部を短縮する再編案となるが、住民が理解しやすいように、アンケート調査では、富雄庄田線（傍示・生駒北スポーツセンター～富雄駅）を傍示・生駒北スポーツセンター～学研北生駒駅と学研北生駒駅～富雄駅に分割するという表現を用いる。

- ・調査票と一緒に配布する情報提供用チラシには、地域住民に自分事と捉えて危機感を持ってもらうために、富雄庄田線の再編案の概要だけでなく、市の財政負担額も掲載する。

4. 住民アンケートの実施概要

利便増進計画の作成に向けて、富雄庄田線の利用状況やニーズ、再編案に対する影響等を把握するために、高山地区住民を対象にしたアンケート調査を実施する。実施概要は次の通りである。

- ・調査対象：高山地区住民への全戸配布（傍示、獅子ヶ丘、庄田、大北、久保、宮方、芝自治会計 1,004 世帯）
※高校生以上が対象（小中学生に対しては、教育委員会の「すぐーる」システムによる調査を別途実施）
- ・調査方法：地元自治会によるアンケート調査票の配布・回収
→回答負担軽減のために WEB 回答ページも作成する
- ・配布数：1 世帯につき 3 部配布
→調査票と一緒に、富雄庄田線の利用状況や路線再編案の概要、乗って維持することの周知（モビリティ・マネジメント）などの情報提供用チラシを 1 世帯につき 1 部配布
- ・調査項目内容：
 - 富雄庄田線の利用状況
 - 地域拠点である学研北生駒駅の移動実態・乗り換え状況
 - 路線再編に対する影響

配布した調査票と情報提供用チラシは、【資料 4 参考資料 2】に掲載する。

5. 今後のスケジュール

現在アンケート調査を実施中である。利便増進計画の策定に向けたスケジュールは次の通りである。

(令和6年度)		
↓	6月～7月	利用者データ分析
↓	7月18日	第1回分科会 調査票内容等検討
↓	7月下旬～8月	調査票作成
↓	9月	調査票配布
↓	<u>9月18日</u>	<u>第2回協議会 調査方法・内容等報告</u>
↓	10月～11月	調査票回収・分析
↓	11月29日	第2回分科会 利便増進方針検討
↓	<u>12月25日</u>	<u>第3回協議会 利便増進方針提示</u>
↓	2月	第3回分科会 計画案検討
↓	<u>3月19日</u>	<u>第4回協議会 利便増進計画案審議</u>
↓	3月中	利便増進計画策定・地域公共交通計画の改訂
(令和7年度)		
↓	5月	国土交通大臣の認定
↓	10月1日	再編実施